



土木学会 見える化データ 2014

土木学会は、2014年に創立100周年を迎える公益社団法人です。学会個人会員数は約30,000人、その多くは企業に所属する土木技術者です。土木学会には、50以上の委員会が設置され、多くの学会員が参加し活発に活動しています。

ここでは、土木学会の2013年度の活動のうち、社会支援、社会とのコミュニケーション、社会への直接的貢献を目的とした活動などを抜粋して紹介します。多くの皆様にご覧いただき、開かれた学会として、より良い方向へ発展し続けていきたいと考えています。

2014年11月5日



公益社団法人 土木学会

企画委員会 見える化WG

担当: 梶木洋子(主査)、山田菊子

<http://committees.jsce.or.jp/kikaku/mieruka2014>

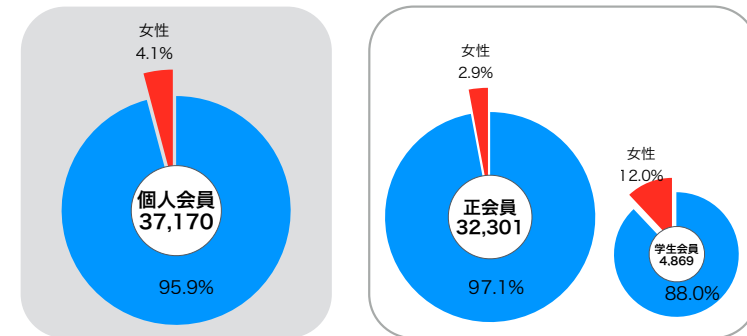
掲載データ一覧

● 会員構成	2
性別会員数、年齢構成	
● 広報	3
新聞掲載数、記者発表数	
● 国際交流	4
国際ジョイントセミナーの開催と派遣	
● トークサロン	5
講師とテーマ	
● イブニングシアター	6
イブニングシアター参加者数	
● 災害調査団	7
派遣実績	
● 教育企画・人材育成	8
小中学校学習支援、女子中高生の理系選択支援	
● 支部活動	9
各支部の活動	
● 委員会活動	10 - 14
出版、100周年、土木の日、全国大会	

会員構成

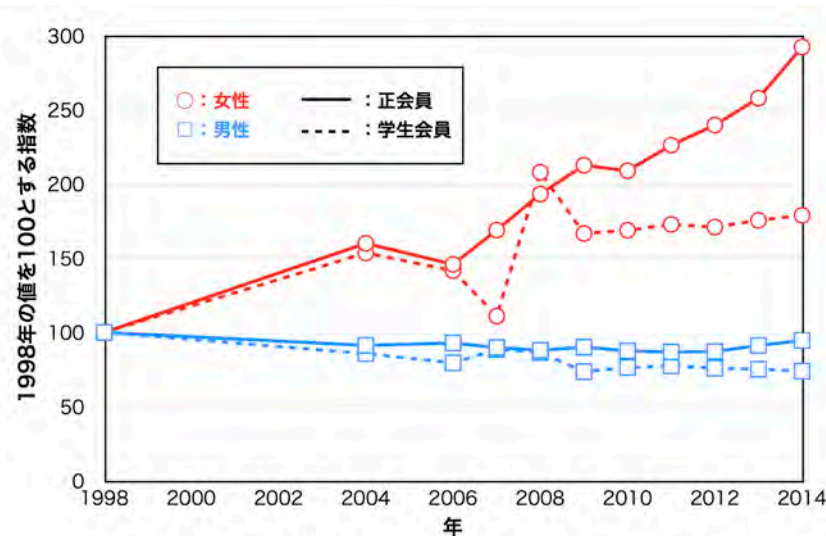
- 土木学会には37,170人の個人会員が所属しています。会員のうち4.1%が女性で、その割合は正会員では2.9%ですが、学生会員では12.0%にのびります。
- 女性会員の割合は増加し続けており、30歳未満の会員が半数を超えています。

個人会員の数と性別の構成



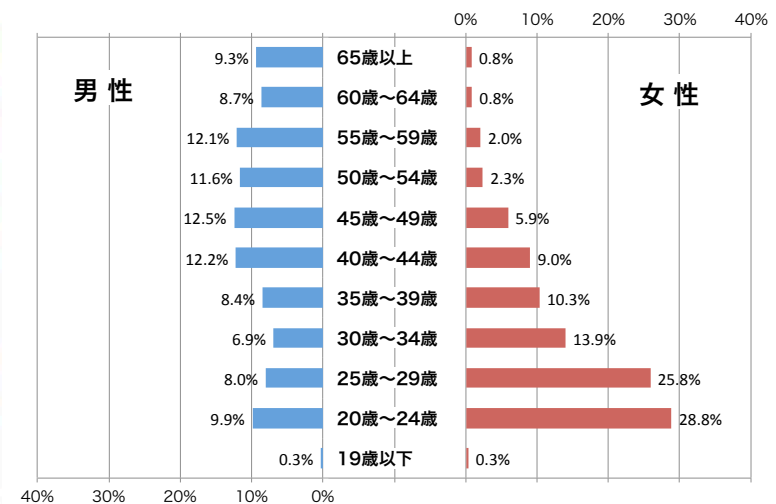
2014年3月31日現在の数値。

個人会員の性別・年齢階層別構成



ダイバーシティ推進委員会
<http://committees.jsce.or.jp/diversity/>

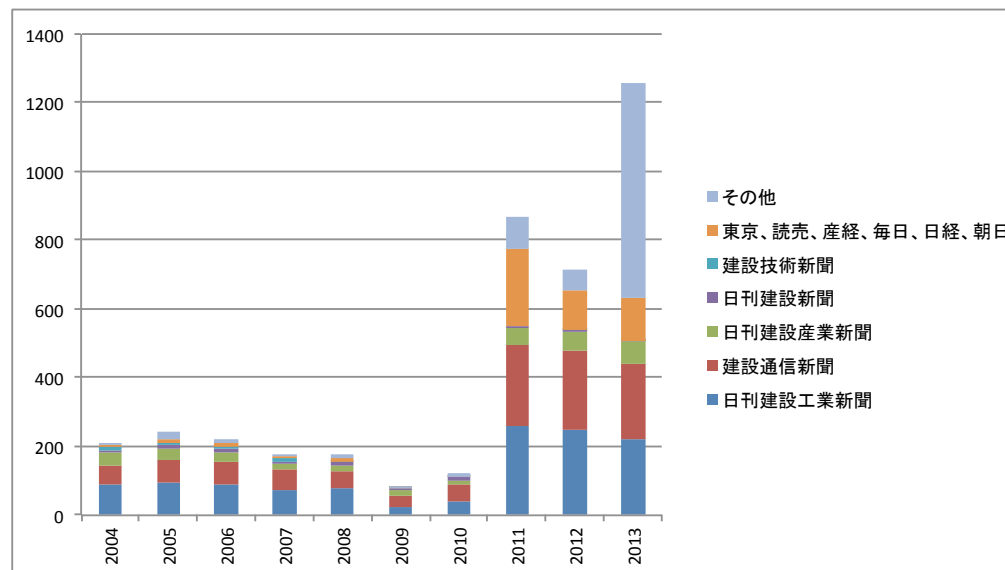
個人会員の性別・年齢階層別構成



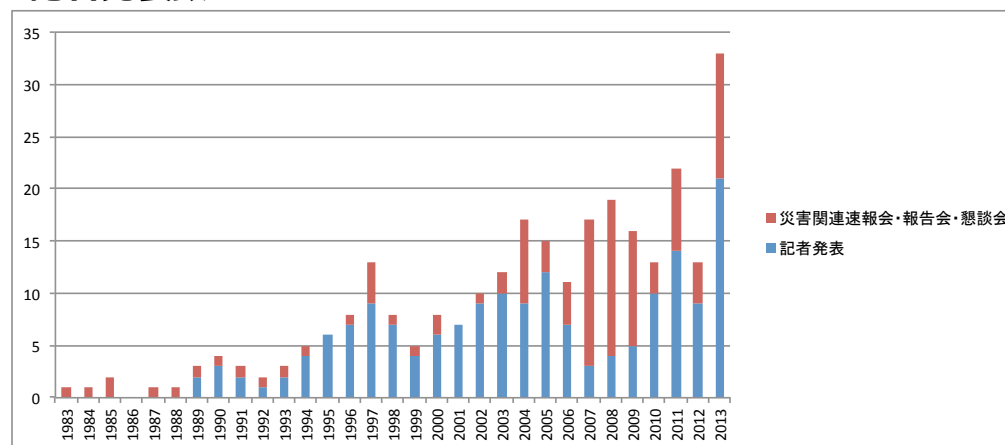
2014年3月31日現在の数値。

- 2013年度1,200件を超える記事が掲載されました。半数は、業界紙や一般紙以外のメディアでした。
- 土木学会では年間30回を超える記者発表を開催しました。

記事掲載数



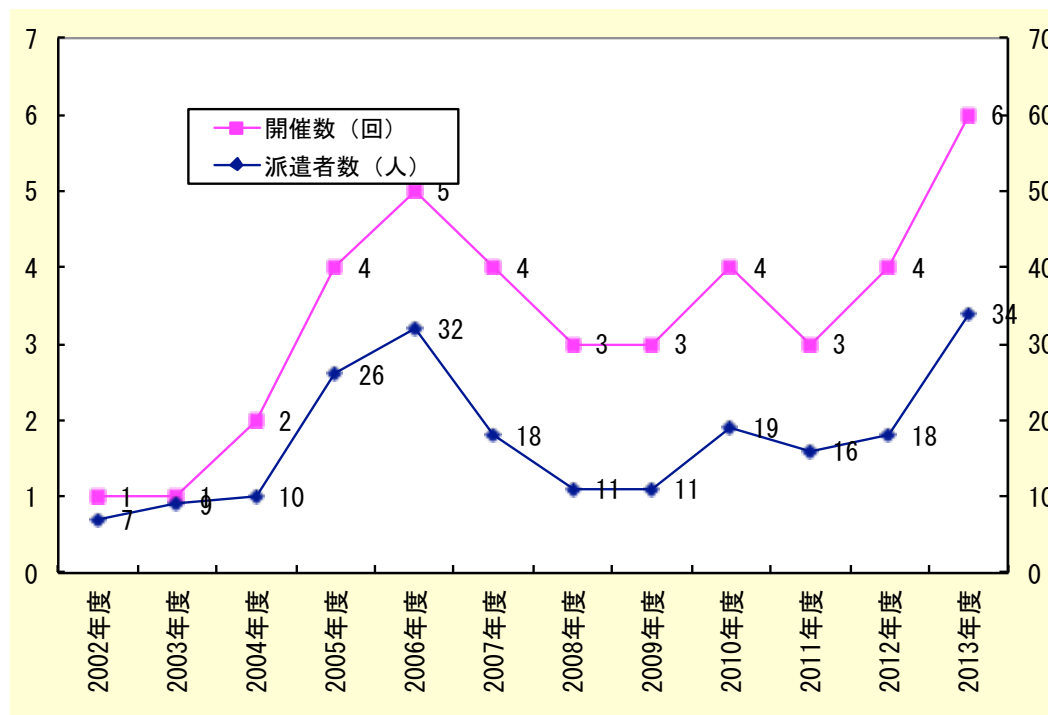
記者発表数



国際交流

- 土木学会では、毎年、国際ジョイントセミナーを開催しています。
- 2013年度には6回の国際ジョイントセミナーを開催し、34名を海外に派遣しました。派遣先はトルコ、ベトナム、モンゴル、韓国、インドネシア、フィリピンです。

国際ジョイントセミナー開催数と派遣者数



トークサロン

- 土木学会では、一般の方も対象として、時々、の社会で注目されている土木工学に関連する話題について、講師をお招きしてお話をいただき、参加者と懇談・討議をしていただく「トークサロン」を定期的を開催しています(参加費は、通常1回500円です)。
- 2003年4月の第1回から2014年1月の第38回まで、延べ1,561人の方に参加いただきました。
- 表は、2013年度の講師とテーマの一覧です。

トークサロンの講師とテーマ

回数	開催日	講 師 (敬称略)	テーマ
第38回(1回目)	2013年11月12日	村上 俊之 今川 悟 村上 ひとみ 清野 聡子	東日本大震災復興フォローアップセミナー 「いのちを守る とは？」
第38回(2回目)	2013年12月20日	安田 菜津紀 宮定 章 石川 幹子 清野 聡子	東日本大震災復興フォローアップセミナー 「豊かな自然・歴史文化をつなぐランドデザイン」
第38回(3回目)	2014年1月27日	金菱 清 片山 知史 五道 仁実	東日本大震災復興フォローアップセミナー 「漁業が支えてきた地域における海岸環境の再生」

イブニングシアター

- 土木学会では、「イブニングシアター」「市民公開特別上映会」「全国大会映画会」など、一般の市民を対象に、土木技術に関する無料の映画会を定期的に開催しています。
- 2001年11月から2014年5月までの間に95回開催し、延べ12,670人の方にご参加いただきました。
- 2013年度は東京都内で7回、札幌市内で1回、千葉県内で1回、開催しました。
- 表は、2013年度に上映したプログラムの一覧です

イブニングシアター等での上映作品

作品名	制作年
横浜大震災火災惨状	1923
名神高速道路-山科舗装(舗装)工事記録(S35/8～S36/2)	1961
名神高速道路	1964
青函トンネル	1989
津波から身を守る	1994
東京臨海新交通-ゆりかもめの建設	1995
阪神淡路大震災による道路の被災と復旧	1995
新しいフォルムの創造-稲城中央公園連絡橋建設記録	1997頃
復旧の軌跡-阪神・淡路大震災土木施設の災害記録	1998
街の一体化と安全のために 目黒線不動前～洗足駅間地下切替工事	2006
パッテンライ!!南の島の水ものがたり	2008
ボスポラス海峡横断鉄道トンネル-海底をわたる風-	2010
「三陸の奇跡」と「命の道」	2011
技術を継ぐ ～東京ゲートブリッジ橋梁上部築造工事記録～	2011
「東日本大震災」の初動対応-東北地方整備局の3日間-	2011
東日本大震災、現場の戦い	2012
東京スカイツリー ～634mへの挑戦～	2012
地下岩盤に築く-倉敷国家石油ガス備蓄基地 水封式地下岩盤貯槽 建設の記録-	2013
復刻版「勝鬨橋」(解説テロップあり)	2013
迫りくる南海トラフ巨大地震に備えて	2013
「勝鬨橋」復刻版を含む解説映像	2013
「勝鬨橋」他20本	—

災害調査団

- 土木学会では、国内外を問わず大災害が発生した際に、発災後ただちに災害対策本部を設置し調査団を派遣して、専門的調査を行い、学術的、技術的見地からメカニズムの解明と防災上の提案を行っています。
- 特に東南アジアを中心とする海外へは、1999年から2013年の間に、33回、延べ351人の調査団を派遣しています。

災害調査団派遣実績（国内）

年	調査団派遣数(回)	延べ団員数(人/年)	災害名
1998年	1	6	福島・栃木・茨城水害
1999年	1	10	広島県土砂災害
2000年	4	22	有珠山噴火、神津島近海地震、東海豪雨災害、鳥取県西部地震
2001年	1	11	芸予地震
2002年	0	0	
2003年	5	102	三陸南沖地震、九州北部・中部豪雨災害、宮城県北部地震、平成15年8月台風10号豪雨災害・北海道胆振・日高地方災害、十勝沖地震
2004年	5	97	北陸豪雨災害、四国豪雨・高潮災害、平成16年9月台風21・22号災害、平成16年10月 台風23号災害、新潟県中越地震災害
2005年	1	21	福岡県西方沖地震
2006年	2	23	平成18年7月豪雨災害、平成18年11月北海道佐呂間町竜巻災害
2007年	2	33	能登半島地震、新潟県中越沖地震
2008年	2	13	岩手・宮城内陸地震、都賀川水難事故
2009年	2	16	防府土砂災害、兵庫県佐用町河川災害
2010年	2	23	中国地方豪雨災害、広島県庄原市土砂災害
2011年	3	37	新潟・福島豪雨災害、台風第12号土砂災害、上越地滑り災害
2012年	1	34	九州北部豪雨災害
2013年	2	29	伊豆大島豪雨災害(事前調査、本格調査)

災害調査団派遣実績（海外）

年	調査団派遣数(回)	延べ団員数(人/年)	災害名
1999年	2	32	台湾(地震)、トルコ(地震)
2000年	1	7	メコン河(水害)
2001年	3	27	エルサルバドル(地震)、インド(地震)、ペルー(地震)
2002年	2	35	イラン(地震)、ヨーロッパ(水害)
2003年	2	15	トルコ(地震)、アルジェリア(地震)
2004年	1	11	イラン(地震)
2005年	4	67	スマトラ(地震)、アメリカ(水害)、パキスタン(地震)、インドネシア(地震)
2006年	2	21	ジャワ島(地震)、スマトラ(地震)
2007年	3	22	ペルー(地震)、スマトラ(地震)、バングラデシュ(水害)
2008年	3	11	インドネシア(地震)、中国(地震)、ミャンマー(水害)
2009年	4	47	イタリア(地震)、台湾(台風・水害)、インドネシア(地震)、フィリピン(水害)
2010年	2	24	チリ(地震)、クライストチャーチ(地震)
2011年	2	20	タイ(水害)、トルコ(地震)
2012年	1	2	アメリカ(ハリケーン)
2013年	1	10	フィリピン(台風・高潮)

教育企画・人材育成

- 土木学会では、小中学校の総合学習および理科・社会などの教科教育において、活用して頂ける教材や出前講座等の提供・支援を実施しています。
- 土木学会では、毎年「女子中高生夏の学校 ～科学・技術者のたまごたちへ～」に協力し、女子中高生の理系選択の支援を行っています。

小中学校学習支援

時期	実施先	支援対象	支援題目	授業内容	授業風景
2013年 7月30日	足利市 久野公民館	足利市立久野小学校 および筑波小学校の 2年生～6年生の 児童34名	アーチ橋のはなし ー形の魅力と ふしぎー	アーチ橋の歴史とその形の強さについて、小学生向けの授業を工夫して解説した。古代の橋から現代の橋まで、実例を示しながら橋の歴史を説明した。併せて、石造アーチ橋の構造的な仕組みを子供たちに実感してもらうために、アクリルブロックと砂を使った簡単な実験を行った。	
2013年 9月24日・ 10月15日 (計2時間)	東京	多摩市立 連光寺小学校 (4年生)	環境学習(総合)	多摩川(中流域)を題材に下記の学習支援を実施。 ①水質調査(水の汚れ調べ)の学習 ②水辺環境の観察(川の生き物、流れる水の働き、河川構造物を含めた周辺環境の様子など)	
2013年 12月11日・ 2014年 1月10日 (計2時間)	東京	大田区立 多摩川小学校 (4年生)	環境学習(総合)	「多摩川ってどんなところ」と題して、多摩川(下流域)の自然環境の特徴と河川構造物(堤防、水門等)の役割について出前講座を実施。	

教育企画・人材育成委員会 キッズプロジェクト検討小委員会
<http://committees.jsce.or.jp/education12/shien>

女子中高生理系進学支援

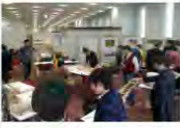
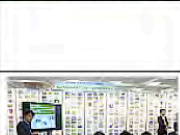
時期	会場	名称	参画内容	主な内容	実施風景
2013年8月8 日～10日	国立女性 教育会館 (埼玉県)	女子中高生夏の学校 2013～科学・技術者の たまごたちへ (主催:国立女性教育 会館他)	企画委員として参画、協 賛、プログラムの実施	プログラムの企画、実施に参画した。 ・バーチャル職場探訪(鉄道系3社) ・保護者向けプログラムの実施 ・グッズの提供 等	

ダイバーシティ推進委員会
<http://committees.jsce.or.jp/diversity/>

支部活動

- 土木学会には、全国に8支部があり、土木への理解とご意見をいただく機会として、各種行事を開催しています。各支部の参加者数の多い行事をご紹介します。

各支部の活動

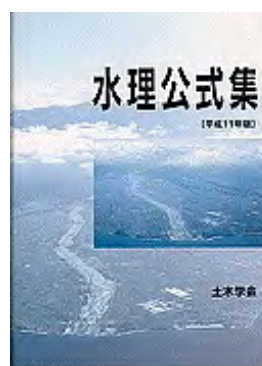
支部名	開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数
北海道	2013/8/30	PRイベント	北見市 北見工業大学	小中学生に土木を含む科学実験やものづくりを体験させ、工学への興味を喚起させた。		一般約545人
東北	2013/11/23	「くらしと土木の週間」イベント 木の棒で橋をつくらう！ 「まち発見・発信ステーション」	秋田市 にぎわい交流館 AU 「まち発見・発信ステーション」	一般市民を対象に、木の棒を使って、アーチ橋など木橋の模型を接着剤なしで組み立てる実演を紹介し、実際に簡単な木橋模型の組み立てを体験できるイベントを開催。		100名
関東	2013/8/31	第19回 コンクリートカー大会	荒川調整池「彩湖」	土木の主材料によるコンクリートでカーを作り、ものづくりの楽しさを実感してもらおうを目的。コンクリートを使って2人乗りカーを製作し、技術とスピードを競い合うイベントを開催。		36校 46チーム
中部	2013/8/5	出前講座 「東海大地震と被害の話」	西尾市立 東部中学校	1. 地震発生メカニズムと地震のタイプ 2. 地震の規模と強さ 3. 東海地方で予想される大地震 4. 過去の地震被害 5. 地震による地盤の液状化現象とその予測 6. 地震への備え		302名
関西	2013/10/31	建設技術展2013 近畿での 『学生のためのキャリア支援』 ～相談にのります、将来への道づくり～	マイドームおおさか	土木関連業界って？どんな仕事？何ができるの？いろんな疑問にお答えします！（土木関連業界についての概要説明、自由に質問できる個別説明会、出展企業のブース訪問）		参加者：120名
中国	2013/11/7	シニアプロジェクト 「土木シニア講演会」	広島市 サテライト キャンパスひろしま	シニア会員の皆様の交流と意見交換のため、土木シニア講演会を開催した。 中国支部内の55歳以上の方にアンケートを取り(488名)その結果を踏まえシニア活性化プロジェクトの今後について意見交換を行った。		会員、一般合わせて 75人
四国	2013/12/17	第8回 南海地震 四国地域学術 シンポジウム	香川県 サンポートホール 高松(61会議室)	四国の各行政機関の東南海・南海地震対応への取り組みの紹介と各研究機関が有している学術・技術研究の現状と南海地震研究に向けた今後の課題を検討した。		一般142名
西部	2013/8/26	平成25年度親子見学会	九州新幹線 (西九州ルート) 俵坂トンネル 工事現場 天山揚水発電所	「土木」への理解を深めてもらうことを目的に、小中学生を対象とした「親子見学会」		大人11名 子供15名

委員会活動：出版

- 土木学会では、学会内に設置された委員会活動の成果を刊行物として出版しています。「コンクリート標準示方書」、「トンネル標準示方書」、「水理公式集」など、土木を構成するさまざまな分野の書籍を多数発行しています。
- また、創立100周年周年記念出版の発行を18点予定しており、2013年度時点では「継続は力なりー女性土木技術者のためのキャリアガイド」、「東日本大震災～3.11 あの日を忘れないでほしい～」の2点を発行しています。

創立100周年記念出版

主な刊行物



委員会活動：100周年 (1/2)

- 土木学会は、2014年11月24日に創立100周年を迎えます。
- これを祝い、「社会貢献」、「国際貢献」、「市民交流」を3本の柱とした、土木界、土木学会、土木技術者がこれから100年を超えて発展し、成長し続けるための事業を実施しています。

100周年事業実行委員会
http://jsce100.com

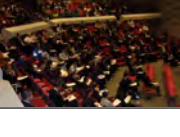
事業・行事 (1/2)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	組織名
2013/6/13	市民普請大賞に関するワークショップ	土木学会講堂	市民普請大賞のあり方、市民普請を社会に浸透させるための方法のアイデアを出し合い、今後の学会活動に反映することを目的にワークショップを開催。		市民普請実施者、土木関係者など約40名	100周年事業実行委員会 市民交流部会
2013/8/1	親子で土木の現場めぐりバスツアー	札幌市、夕張市	「安心・安全」をテーマに北海道開発局実施の一般国道337号札幌大橋橋脚工事、夕張シューパロダム建設工事、札幌市実施のこばやし峠トンネル新設工事を親子で見学。		親子70名	北海道支部
2013/8/8～8/10	女子中高生夏の学校 2013	国立女性教育会館(埼玉県比企郡嵐山町)	理系進学を目指す女子中高生が科学技術の世界を体験するとともに、先輩からの情報提供の場/企画運営に加わったほか、ポスターセッションに参加。		女子中高生とその保護者・教員130名	教育企画・人材育成委員会 ダイバーシティ推進小委員会 コンサルタント委員会 市民交流研究小委員会
2013/9/5	若手技術者国際ワークショップ	習志野市 日本大学 生産工学部	Your Career as a Civil Engineer and Our Future Society をテーマに、グループディスカッションとその結果を発表。		留学生と若手技術者など35名	100周年事業実行委員会 国際部会 国際センター 留学生グループ
2013/10/4	東日本大震災調査成果講演会	北海道 厚岸翔洋高等学校 体育館	次世代を担う高校生に震災の様子を伝えるために、「2011年大津波による被災施設の被害と復興」など3本の講演を実施。		高校生・教職員約180名	北海道支部・東北支部
2013/10/4	どぼくカフェ ～コクドウを味わう～	広島市 RCC文化センター 1F オーカフェ	街中のオープンな場所(今回は、京橋川岸に隣接するウッドデッキテラス)にて国道・酷道についての国道愛好家松波成行さんに新しい視点でのお話を伺った。		一般約30名	100周年事業実行委員会 市民交流部会 中国支部
2013/10/6	津波避難路と標識の視察『津波防災フォーラム2013』	南あわじ市 南淡公民館、福良港津波防災ステーション	福良の歴史や地理を学びながら、津波避難路や避難標識を確認し、地元関係者と意見交換/2011東北津波を踏まえた今後の津波防災の方向」基調講演とパネルディスカッションを実施		一般約60名	海岸工学委員会
2013/10/20	土木ふれあいフェスタ	千葉県 柏市 ららぽーと柏の葉	一般の方に土木への理解を深めていただくために、土木に関する展示、体験コーナー(液状化、トンネル、橋)、クイズラリーなどを実施することで、交流を図った。		一般約600名	コンサルタント委員会

委員会活動：100周年 (2/2)

100周年事業実行委員会

事業・行事 (2/2)

開催日	行事名	開催場所	概要	写真	参加者数	組織名
2013/11/21～ 2013/11/24	土木コレクション 2013 HANDS+EYES in 新宿	東京都 新宿西口広場	土木界が保有する歴史資料、図面、写真など 普段目に見ることができない各種コレクション を展示、公開するとともに、最近話題になった 新しいコンセプトのプロジェクトについて展示 した		一般 約12,600名	100周年事業実行委員会
2013/11/29	どぼくカフェ 「道ちゃん大集合」 in 大阪	大阪市 川の駅 にぎわいXing	全国の国道愛好家(道ちゃん)を6名にし、国 道、酷道、旧道、廃道の魅力、道の写真の撮 り方、ファッションなど、それぞれの「私的観 点」による道の魅力を披露。大阪から管理 者視点の道の魅力を披露		一般 約60名	100周年事業実行委員会 市民交流部会 関西支部
2013/12/6	平成25年度 東北支部特別行事 (防災に関するシン ポジウム)	仙台市 情報産業プラザ 多目的ホール	「東日本大震災と復興」～復興まちづくりの加 速、合意形成は行政主導から住民主導へ～」 と題して、防災に関するシンポジウムを開催		一般 約230名	東北支部
2013/12/6、7	『安全な国土への 再設計』 中部支部TF 歴史・教訓に 減災を学ぶ見学会 (台風・高潮編)	愛知県 名古屋市、弥富市、 三重県 桑名市	歴史・教訓に減災を学ぶ機会として、木曾三 川の治水を学ぶとともに、大きな被害をもた らした伊勢湾台風の史跡を訪れ、被災地にお ける防災の取組みの調査を行い、タスク フォースのメンバーと意見交換を実施。		土木学会員、 学生、教員、 NPO等28名	中部支部
2013/12/18	どぼくカフェ 「アニメに挑む建設業」 in 関東	東京都 港区 SHIBAURA HOUSE 1Fフロア	宇宙戦艦ヤマト2199における、戦艦ヤマトの 建造するためのドック建設工事に関する、設 計、施工、建設計画を実現検討した内容を講 演。		一般約50名	関東支部
2014/3/1	墨田区民向け 公開講座 「皆さんの『まち』の 防災問題を 鑑定します！」	東京都 墨田区	首都圏の低平地において発生が危惧される 地震、液状化、高潮、洪水の自然災害に対 し、「今、何をすればよいのか！」を地域住民の 皆さんと一緒に考える公開講座を開催。		一般 (約200名)	関東支部
2014/3/11	3.11 防災フォーラム 2014 ～東日本大震災 復興調査研究報告～	八戸工業大学	東日本大震災を記憶にとどめ、再度防災に対 する意識を高めて、災害に対する備えを深め ることを目的にフォーラムを実施。津波に 関する基調講演/東日本大震災学術合同調 査報告/震災復興調査研究報告。		一般 約300名	東北支部

委員会活動：土木の日

- 土木学会では、1987年以来、11月18日の「土木の日」および「くらしと土木の週間」に全国で様々な行事を開催しています
- 2013年度の本部行事としては、「土木の日記念行事シンポジウム」と「土木コレクション2013 HANDS + EYES」を実施しました。

土木の日記念行事シンポジウム



土木コレクション2013 HANDS + EYES



委員会活動：全国大会

- 土木学会では、毎年「年次学術講演会」を全国大会として開催しています。
- 例年、3,000前後の講演発表があり、大会期間中には延べ1万人を超える方々が参加します。
- 2013年度は第68回として日本大学(担当:関東支部)において開催されました。

全国大会の講演数・参加者数

